

快晴の中部路快走



OKINAWA MARATHON

おきなわマラソン

【中部】1万4千人余のランナーが、晴天に恵まれた中部路を駆け抜けた第23回おきなわマラソン。コース沿いには大勢の人々が詰め掛け、水や果物を配って声援を送るなどランナーを後押しした。勇壮なエイサーや生演奏が沿道を彩り、ランナーや応援する人たちの熱気が中部一帯を包み込んだ。



最高齢完走者の受賞を喜ぶ高良光雄さん(左)と伏見房子さん＝15日、県総合運動公園

高良、伏見さん
若者に負けず
最高齢完走者
第23回おきなわマラソン

を完走した最高齢男性は現役医師の高良光雄さん(80) Ⅱ那覇市、女性は4年連続で大阪府の伏見房子さん

(72)だった。高良さんは「若い者には負けられない」と負けん気を発揮。伏見さんは「何度もしタイアを考えたが、沿道の応援に支えられた」と完走を喜んだ。

高良さんは5キロ付近で転ぶアクシデントもあったが、棄権せずに走り続けて4時間43分でゴール。「若い人にどんどん追い抜かれ、つつい力が入ってしまった」と笑う。伏見さんは5日に沖縄入りし、喜屋武岬から辺戸岬を走破。「タイムは気にせずゴールできればいい」と笑顔を見せた。